

二九五九番

現うつつには 言ことも絶たえたり 夢いめにだに 継つぎて見みえこ
そ 直ただに逢あふまでに

二九六〇番

うつせみの 現うつし心こころも 我われはなし 妹いもを相あひ見みずて
年としの経へぬれば

二九六一番

うつせみの 常つねの言ことば葉はと 思おもへども 継つぎてし聞き
けば 心こころ迷まどひぬ

二九六二番

白しろたへの 袖そで離かれて寝ぬる ぬばたまの 今こよひ夜ひはは
やも 明あけなば明あけなむ

二九六三番

白しろたへの 手たもと本もとゆたけく 人ひとの寝ぬる 甘うまい睡いは寝ねず
や 恋こひ渡わたりなむ